

製本のススメ

Vol. 13

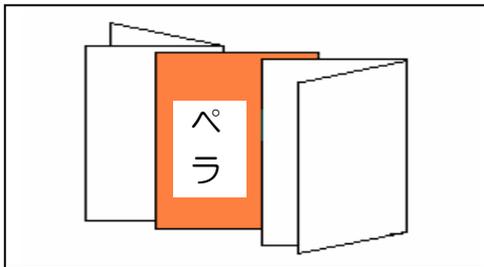
3月を目前に製本業界も繁忙期になってきました。卒業や入学・就職と一年で一番晴れやかな季節がやって来ますね。

今回はペラのお話

紙1枚の事を製本では総称して[ペラ]と呼んでいます。表と裏で2頁印刷できますが裏が印刷なしの場合でも2頁として扱われます（1頁とは呼びません）
時おり 文章中に章のくぎりとして用紙を替えた【扉】がありますが、これもペラ的一种です。多くの場合ペラは前後の折丁に貼り付けて製本されます。最近では刷本を折らずに 全て断裁しペラで丁合いをする簡易的な製本工法も増えてきました。

さてペラは用紙に糊を付けるわけですから当然**紙目が重要**です。また貼られる側も紙目を疎かにはできません。どちらの場合も（本になったときの）天地に対して順目でなくては、綺麗な貼りが出来ないのです。

ところでペラは本文の何処に面付けしていますか？一番最初か最後の頁に持ってくる？答えはNO！です。通常のクルミ製本では最終折本より前が好ましく折本と折本でペラをサンドイッチにするほうが良いのです。



例えば左の10頁を例にしてみましょう。

1・2・3と順を追えば余った2頁を最後に持って行きたい気持ちはよくわかりますが 本の強度を考慮すれば 2頁分は真ん中に入る方が好ましいのです（台と台の間です）

但し**中綴じの場合**は、見開きの良さを考慮して**表3の前へ面付けする**事が基本です。くるみ・中綴じ製本のいづれにせよ貼込みには「**のりしろ**」が必要で図柄見開きのような場面には不向きなので、ペラの扱いには注意が必要です。



Teabreak

「笑う角には福来る」昔から笑いは健康法のひとつとされていますね。では涙はどうでしょうか？面白い事にタマネギのような刺激による涙と、悲しくて泣いた涙には、大きな違いがあるそうです。

感情的な涙の中にはストレスホルモンが多量に分泌されており【泣く】ことで体内の有害物質をとり、心を浄化するそうです。悲しいときも、悔しいときもおもいきり泣くのが、長生きのコツですね。

by (株) 井関製本